

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月18日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	対馬市役所		代表者名	比田勝 尚喜
担当者部署	総務部		連絡先電話番号	0920-53-6111
担当者役職	係長	担当者氏名	扇 裕二	連絡先E-mail
住所	817-0022 長崎県対馬市厳原町国分			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	升屋 正人
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	災害情報伝達システムの役割を改めて認識するとともに、災害情報伝達システムの評価項目、方式分類等を資料を提供いただいたうえで、細かく説明いただき、分かりやすかった。また、質疑応答時間もあり、率直な意見交換を行うことができたため。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月12日	15時30分	17時30分		120
3-2. 派遣場所	会場名	対馬市役所厳原庁舎		最寄駅	なし
	所在地	対馬市厳原町国分1 4 4 1 番地		最寄駅からの交通手段	飛行機ーバス
	派遣形態	事前打合せ(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	総務部財産管理運用課他	5 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	次期災害等防災情報システムの導入を検討するにあたり、システムの果たす役割、目指すべき方向性等に多くの課題、条件があり、適切なシステム導入検討が停滞し、選定作業に行き詰りつつある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	本市に最適な次期防災行政情報システム検討を進め、最適なシステムを見出したい。また、屋外拡声器を適切に配置したい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	災害時の情報伝達手段の検討において、情報伝達手段の役割や選定時の評価項目を各方式毎にメリット、デメリットを説明いただきながら、対馬市に適する情報伝達方式をいくつか推薦いただき、対馬市において今後どのような検討が必要であるのか把握できた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	既設システムの課題を改めて認識するとともに、次期システム導入にあたり、各種伝達方式を詳細に紹介いただき、本市に適する伝達方式を絞り込むことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	本市の次期防災行政システムに適する伝達方式に関し、情報収集が不足しているため。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 第1回目の支援前に、事前に本市の課題をお伝えしたため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	現在の防災行政情報システムを最適な伝達方式での防災行政情報システムへと改修し、防災情報伝達の強靱化を図る。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

